

「本田あきこ」

薬剤師議員である本田あきこ参議院議員についてご紹介いたします。

本田あきこ議員は、令和元年7月の参議院選挙で159,596票を獲得し比例代表全国14位、自民党新人候補では1位、医師会候補を抜き見事に初当選を果たしました。

当選後は、薬局・薬剤師、薬業・医療関係の質問に立たれ、課題の解決に取り組まれました。また、令和4年8月から厚生労働大臣政務官、令和5年10月からは文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官を務められ、令和6年11月からは自民党女性局長に就かれ活躍されています。

略 歴

昭和46年9月生まれ（熊本県出身）
平成8年3月星薬科大学卒業、平成10年卸勤務
平成13年薬局勤務 平成14年国会議員秘書
平成19年製薬会社勤務・卸（アルフレッサ）勤務
平成25年10月～28年2月神奈川区慶成薬局勤務
平成28年熊本県薬剤師会・連盟副幹事長
平成29年日本薬剤師連盟副会長
令和元年7月21日参議院議員選挙初当選
令和4年8月 厚生労働大臣政務官、内閣府大臣政務官
令和5年10月 文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官
令和6年11月 自民党女性局長



【薬剤師のために】

日本薬剤師会・連盟の要望を聞く窓口として議員会館にて要望書を頂き、省庁に確認を行い、必要な内容は党内勉強会で発言など、確実なフィードバックを続けています。

◎医科：歯科：調剤 1：1：0.3 の堅持

【厚生労働大臣政務官として】

2022年8月に厚生労働大臣政務官を拝命した関係上、この間、国会質問する機会はなく、その代わり各種委員会にて質問を受けて、政府側の立場で国会答弁することが多くありました。

○衆議院・参議院併せて57回 答弁 参議院29件 衆議院28件

【これまで実現した政策】

健康と安全・安心のため、薬剤師や薬業関係者にとっての課題解決に取り組みました。

① 薬剤師の職能の拡充 (薬剤師法改正) 2019/11/27 可決成立	薬学的管理(かかりつけ機能)を法律上明確化 2019/11/21 厚労委員会にて、薬剤師の資質の一層の向上について質問
② 認定薬局制度の創設 (薬機法改正) 2019/11/27 可決成立	地域連携薬局、専門医療機関連携薬局の認定制度 2019/11/21 厚労委員会にて、がん以外も認定になるのか、専門医療機関の近くでなくても認定がとれるのか等質問
③ 薬局等への財政支援 (新型コロナ対策) 令和2年度第二次補正予算 2020年6月成立	薬局等に対する予算等(薬剤交付支援事業、緊急包括支援交付金) 2020年5月 自民党政務調査会において発言(要望)
④ 緊急承認制度の創設 (薬機法改正) 2022/5/13 可決成立	医薬品・医療機器等を国民に速やかに届けるための新たな早期承認制度 2021/3/16 厚労委員会において重篤な感染症など、緊急事態に対応できる法整備の必要性について質問 2022/11/22 ソコーバ 緊急承認
⑤ 医療を取り巻く諸課題への取り組み	感染症有事等への備え(日本版CDC設立等:2023/5/31 可決成立) → 2021/5/10 予算委員会にて、司令塔機能の重要性を質問 医薬品供給不足の複合的要因の解消 → 2022/3/3 予算委員会にて、後発医薬品の安定供給への取り組みについて質問 薬価中間年改定廃止等 → 2024/12/4 本会議にて、薬価制度や医薬品の安定供給、薬物対策・オーバードーズ、医療DXなど13項目について質問